

2011年(平成23年)11月21日(月曜日)

自然エネルギー 子どもらが実験 美濃加茂で勉強会



バイオエタノールを使った発電などを学ぶ「アイコンカフェ」のことも新エネルギー勉強会」が二十日、美濃加茂市山之上町の平成記念公園日本昭和村で開かれ、市内外の親子連れや高校生ら約百人が参加した。

岐阜市の経営勉強会「アイコン岐阜塾」と

美濃加茂市が共催し、中日新聞社などが後援。昭和村で来年、施設内の雑草を発酵させて作るバイオエタノールの燃料電池で照明を点灯させる実験を進めるため、市民に自然エネルギーの可能性を知ってもらうと開かれた。

名古屋市の南山大付属小学校六年田渕宏太郎君が、オ

らせてバイオエタノールを生成した取り組みを報告。バイオエタノールと水を反応させてできた電気でプロペラを回したり、固形燃料を作ったりする実験もあった。

加茂農林高校林業工

学科一年の大家夕夏さん(右)は「木の端材な

どの廃棄物をエネルギー

として再利用できれ

ば、環境も良くなるし

おもしろい」と話して

いた。(安藤恭子)

固形燃料を作る実験に取り組む子どもたち＝美濃加茂市山之上町の日本昭和村で

コール発酵